

## 市民との対話について（案）

### 1. 市民対話の必要性

近年、行政計画を策定するにあたっては、その地域の住民や事業者などの意見を十分に反映することが求められています。その一つが、本市のほか多くの自治体で実施されている「パブリック・コメント」であり、「アンケート調査」もこの一環と捉えることができます。また、まちづくりの分野などにおいては、合意形成の一環として地域住民や事業者を対象とする「ワーク・ショップ」を開催することなども、多くの自治体で行われるようになっていきます。

現行計画（第二次）においては、検討委員会により各区において市民（地域団体）との意見交換会を開催するとともに、パブリック・コメントを実施することで、市民の意見を計画に取り込んでいます。また昨年度には、総合計画の見直しにあたり、「ワールド・カフェ」という新しい方式を取り入れた挑戦もしています。

「行財政改革プラン（平成 25 年 6 月）」においても環境局の改革実行計画に位置づけられているとおり、これまでの経験を踏まえながら、さらに効果的な方法を模索して、本年度より改定作業を進める計画（第三次）についても、市民対話を実施することを検討しています。計画の策定段階における市民対話では、早い段階で対話を実施することで、より効果的に「計画に意見を反映する」ことができます。

### 2. 対象者

対話を行う対象としては、市内で既に環境活動を実施している方々を想定します。実際に活動している中でのご意見や、現在活動をしていないような方々を巻き込んでいくためのアイデア等をいただきたいと考えます。

また、これによって、環境活動の担い手づくりだけでなく、環境活動を通じた地域づくりへの広がりも期待できます。

対象者（想定）	主に市内全域で環境活動を実施している方々を中心に構成
---------	----------------------------

### 3. 市民対話手法

#### (1) ねらい

前述のとおり、今回の計画策定にあたり実施する市民対話においては、「計画への意見反映」が重要な到達目標であるとともに、市民対話を行うことにより、計画策定後における市民の自主的な行動促進につながる「意識の高揚」も促進したいと考えます。

#### (2) 市民対話手法の特徴整理と選定

本市でこれまでに実施されてきた市民対話手法のほかにも、全国でさまざまな手法が採用されていますが、それぞれに特徴、長所・短所があります。

そこで、各市民対話手法について、「意見反映」、「意識の高揚」の観点における特徴を表 1 のとおり整理しました。整理結果より、前述のねらいに最も合致するのは、「ワールド・カフェ方式」による市民対話になると想定しています。

なお、パブリック・コメントは、「福岡市パブリック・コメント手続要綱」に基づき、計画素案作成後に実施します。

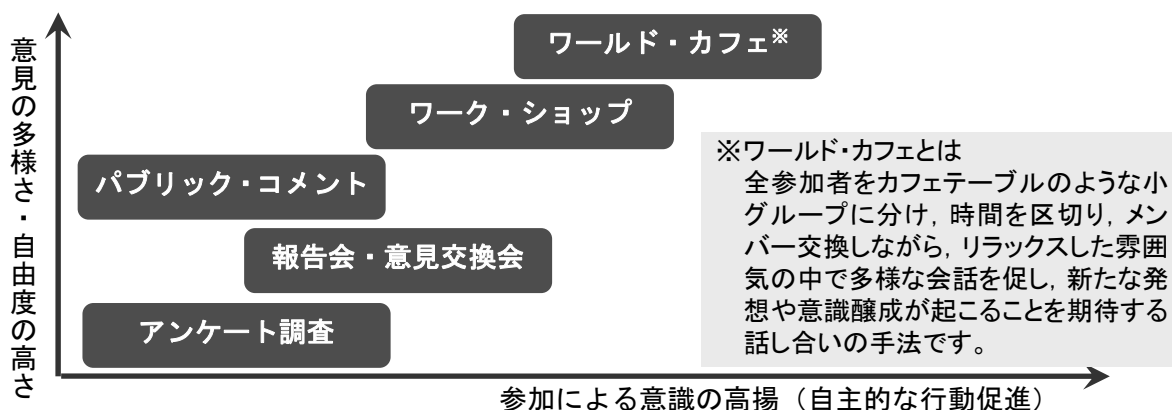


図 1 それぞれの手法における位置づけのイメージ

表 1 市民対話手法の特徴

手法	意見反映	意識高揚	備考
アンケート調査	△	△	
パブリック・コメント	○	△	「福岡市パブリック・コメント手続要綱」に基づき要実施
報告会・意見交換会	△	△	現行計画策定時に開催
ワーク・ショップ	○	○	
ワールド・カフェ	○	◎	平成 24 年度に総合計画策定時に開催

(3) 今後のスケジュール（案）

今後は、骨子検討に意見を反映し、11月に予定されている環境審議会（作業部会）において、骨子（案）を示すとともに、市民対話の開催結果報告ができるように進める予定です。

大まかな流れは以下に示すとおりです。

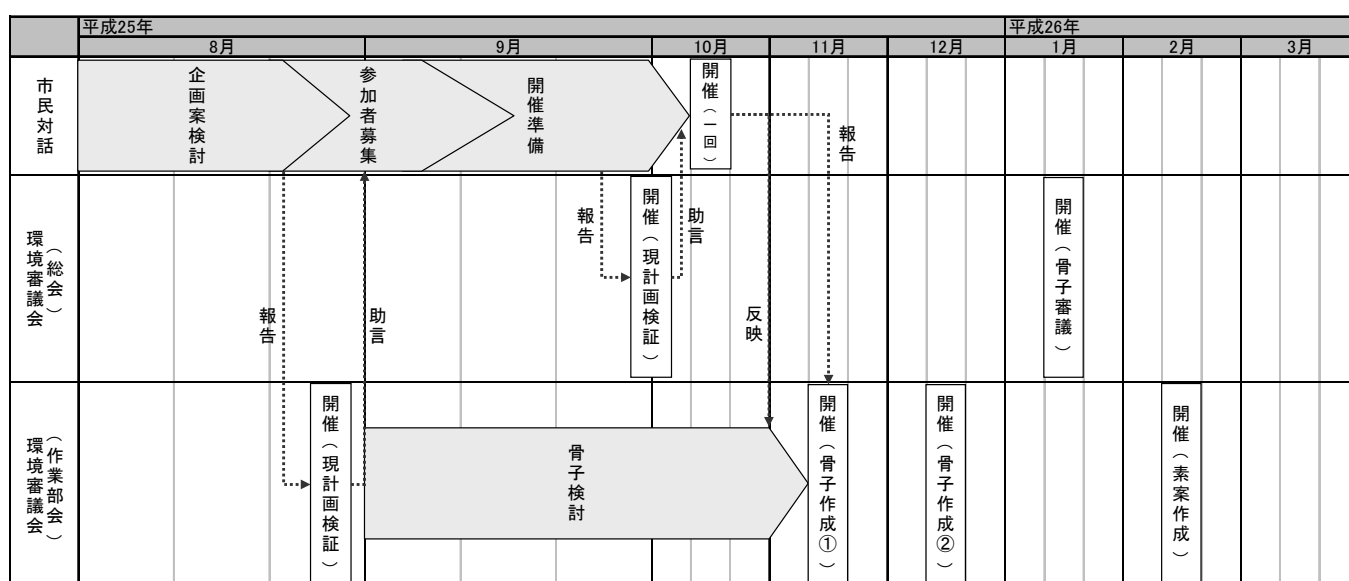


図 2 今後のスケジュール（案）